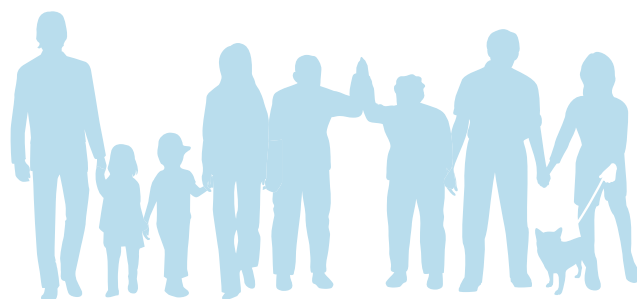
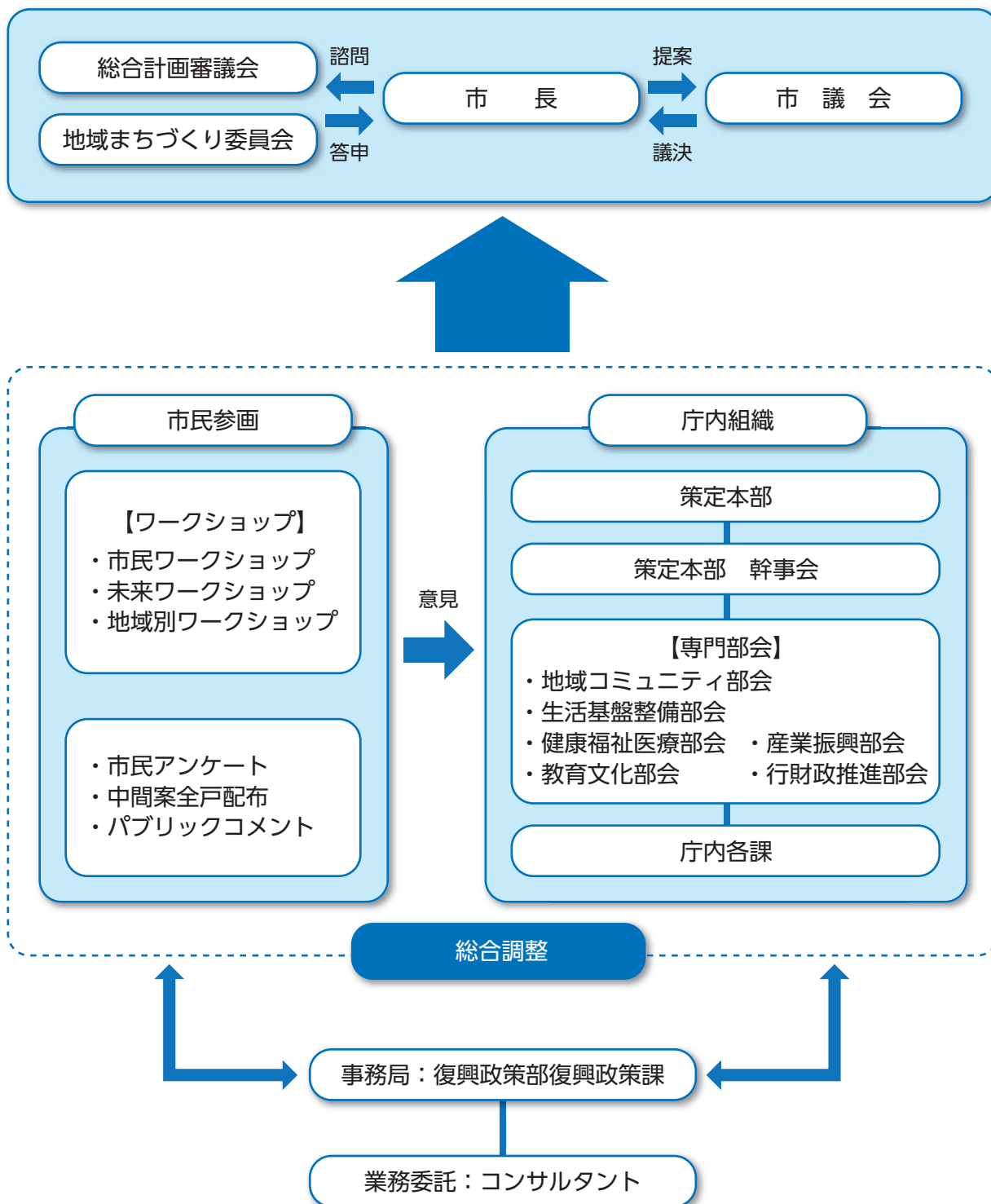


参考資料

Ishinomaki Comprehensive Plan



1 策定体制



2 市民参画

(1) 市民参画策定経過

令和元年		
12月11日	第1回 石巻市総合計画審議会	<ul style="list-style-type: none"> ・諮問 ・石巻市総合計画審議会について ・第2次石巻市総合計画策定方針について ・アンケート調査について ・市民ワークショップについて
令和2年		
1月17日	第1回 市民ワークショップ 第1回 未来ワークショップ	・石巻市の今、未来を考える
2月11日	第2回 市民ワークショップ 第2回 未来ワークショップ	<ul style="list-style-type: none"> ・石巻市の課題を探る ・分野のつながりを考える
4月20日～ 4月28日	第3回 市民ワークショップ 第3回 未来ワークショップ ※書面開催	・石巻市の将来像（大切にしたいキーワード、石巻市のカラー）について
5月25日～ 6月1日	第2回 石巻市総合計画審議会 ※書面開催	<ul style="list-style-type: none"> ・計画策定に係る調査項目等概要 ・石巻市の現状と主要課題 ・第2次石巻市総合計画基本構想骨子案について
7月10日	第4回 市民ワークショップ	・分野別の重要な課題を見つける
7月11日	第4回 未来ワークショップ	・解決すべき課題を見つける
8月3日	第3回 石巻市総合計画審議会	<ul style="list-style-type: none"> ・第2次石巻市総合計画基本構想骨子案について ・第2次石巻市総合計画基本構想素案について
8月8日	第5回 未来ワークショップ	・課題を解決する取組を考える
8月21日	第5回 市民ワークショップ	・分野別の重要な課題を見つける
8月27日	第4回 石巻市総合計画審議会	・第2次石巻市総合計画基本構想原案について
8月29日	第6回 未来ワークショップ	・取組を実現するために、自分たちにできること、大人に手伝ってもらいたいことを考える
9月10日 9月14日	第6回 市民ワークショップ	・課題を解決する取組を考える
10月14日 10月17日	第7回 市民ワークショップ	・取組を実現するための市民と行政の役割を考える
10月20日	河北地区ワークショップ 河南地区ワークショップ	<ul style="list-style-type: none"> ・諮問 ・第2次石巻市総合計画について ・地区別将来展望について
10月21日	桃生地区ワークショップ	
10月22日	牡鹿地区ワークショップ	
10月24日	北上地区ワークショップ	
10月26日	雄勝地区ワークショップ	
11月25日	河北地域まちづくり委員会 河南地域まちづくり委員会 桃生地域まちづくり委員会 牡鹿地域まちづくり委員会	・地区別将来展望について
11月27日	北上地域まちづくり委員会 雄勝地域まちづくり委員会 ※書面開催	
12月1日	第5回 石巻市総合計画審議会	<ul style="list-style-type: none"> ・第2次石巻市総合計画基本計画中間案について ・第2次石巻市総合計画基本構想原案について
令和3年		
3月4日	第6回 石巻市総合計画審議会	<ul style="list-style-type: none"> ・第2次石巻市総合計画基本構想答申案について ・第2次石巻市総合計画基本計画答申案について
3月22日	石巻市総合計画審議会答申	・第2次石巻市総合計画基本構想及び基本計画
3月25日	地域まちづくり委員会答申	・第2次石巻市総合計画地区別将来展望

(2) 石巻市総合計画審議会

(敬称略)

職	氏名	所 属	職	氏名	所 属
会 長	岩田 司	東北大学 災害科学国際研究所 教授	委 員	西條 允敏	石巻市文化協会 会長
副会長	大槻 英夫	社会福祉法人石巻市社会福祉 協議会 会長	委 員	沼倉 勝哉	一般社団法人石巻青年会議所 理事長
委 員	関根 慎吾	石巻専修大学経営学部 教授	委 員	千葉 陽子	石巻市女性活躍推進会議 副会長
委 員	鈴木 康夫	東北福祉大学総合マネジメン ト学部 学部長・教授	委 員	木村 民男	石巻市子ども子育て会議 会長
委 員	佐藤 伸吾	国土交通省東北地方整備局 北上川下流河川事務所 所長	委 員	佐々木清勝	河北地域まちづくり委員会 会長
委 員	佐藤 靖	宮城県東部地方振興事務所 所長	委 員	大槻 敏也	雄勝地域まちづくり委員会 副会長
委 員	青木 八州	石巻商工会議所 会頭	委 員	今野まゆみ	河南地域まちづくり委員会 委員
委 員	須能 邦雄	石巻市水産振興協議会 会長	委 員	伊藤 桂子	桃生地域まちづくり委員会 副会長
委 員	松川 孝行	いしのまき農業協同組合 代表理事組合長	委 員	佐藤 尚美	北上地域まちづくり委員会 委員
委 員	阿部 隆	特定非営利活動法人 石巻市スポーツ協会 会長	委 員	後藤 ゆか	牡鹿地域まちづくり委員会 副会長

※齋藤 光智 一般社団法人石巻青年会議所 理事長 (R1.12.1 ~ R1.12.31)
 高橋 剛彦 宮城県東部地方振興事務所 所長 (R1.12.1 ~ R2.3.31)
 伊藤 和男 特定非営利活動法人石巻市スポーツ協会 会長 (R1.12.1 ~ R2.5.25)
 立花 善孝 一般社団法人石巻青年会議所 理事長 (R2.1.1 ~ R3.1.27)

(3) 地域まちづくり委員会 (令和3年3月25日時点)

(敬称略)

職	河北地域	雄勝地域	河南地域	桃生地域	北上地域	牡鹿地域
会 長	佐々木清勝	吉田 薫	佐々木 洋	千葉 照彦	佐藤富士夫	大澤 俊雄
副会長	小関 淳	大槻 敏也	川田 章	伊藤 桂子	横山 宗一	後藤 ゆか
委 員	川口 洋	畑山 千鶴	雫石 勝彦	小泉奈穂美	佐々木市夫	今野 昭彦
	櫻井 美子	澤村 文雄	稲葉憲一郎	大森 雅倫	千葉 幸一	高橋百合子
	高橋 照雄	春日美千代	草刈美代子	今井 正昭	太田 郁子	佐藤 淳子
	武山 裕記	阿部 貴之	今野まゆみ	阿部 仁一	鈴木 学	伊藤 善和
	千田 卓	原田 明季	佐藤 八郎	毛利 悦子	武山 萬	遠藤 秀喜
	千田 豊穂	徳水 利枝	千葉 正志	菅野美貴子	佐藤 尚美	木村 絹子
	三浦 尊徳	高橋 守次	石垣 芳温	佐々木和夫	佐藤 敏之	大壁 孝之
	三浦 孝弘	大槻 幸広	岩渕 幾夫	永澤 貞代	遠藤 健司	福屋 粧子
	岩瀬 由和	阿部 金壽	雫石 重美		小出 信作	野津裕二郎
	首藤憲司郎	阿部 利昭	大槻ひろみ		太田 尚志	
	小川 英樹	末永奈津子	庄司 憲二		手島 浩之	
	鈴木 英勝	大和 千恵	佐藤めぐみ		猪又 直己	
			米谷 正信		大内 弘	
			佐々木慶一郎		熊谷 秋雄	
			田畑 香菜		渋谷 修治	
			渡邊 俊夫		高橋 由佳	

(4) ワークショップ

■市民ワークショップ

対象	市内在住または通勤している 18 歳以上の方
参加者 (敬称略)	39 名（※掲載に承諾があった方の氏名のみ掲載しています。）(50 音順) 青木 彰子 / 阿部 勝浩 / 荒木 裕美 / 門脇 利勝 / 鈴木 智子 / 須藤 裕子 / 須能 邦雄 / 寶 鈴子 / 原田 豊 / 平井 和也 / 伏見不二雄 / 本川 良 / 四倉禎一郎

第 1 ～ 3 回では、5 つの分野に分かれ、分野ごとに将来の石巻について話し合いました。

地域コミュニティ	
<p>《どんなまちになってほしいか》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・つながる、家族、共助の心 ・若者が暮らし続けたいまち ・まつりあってつながるまち ・若い人とつながるまち 	<p>《課題》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・つながりをつくるチャンスがない ・地元の人が地域の魅力に気づいていない ・高齢者のコミュニティがなかなかはじまらない
生活基盤整備	
<p>《どんなまちになってほしいか》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・きれいな自然を残したい、取り戻したい ・安心に暮らせるまち 	<p>《課題》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地権者意識の向上が必要 → 生業するには地権者のまとまりが必要 ・放置された山林に手を入れるためには担い手の確保が必要
健康福祉医療	
<p>《どんなまちになってほしいか》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・どの年代も若々しく、いきいきと笑顔が自然に出れば、地域でも子育てでも明るく優しく ・地域で介護者を支援するまち ・ひとりひとりが、健康で元気に暮らせることが重要 ・子供や高齢者の配慮が行き届いているまち 	<p>《課題》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子ども一人で遊ばせに行けない ・高齢者や子育て世代と普段からなかなかつながることができない ・医療は特に地域間の格差が激しい ・妊婦・子育て世帯・子ども・お年寄りなど健康・医療・福祉を必要とする人たちがつながり、助け合う場を自らつくる必要がある
産業振興	
<p>《どんなまちになってほしいか》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小さな力を合わせて大きな力に ・10 年後子どもたちがこの町でいきいきとグローバルに仕事ができる 	<p>《課題》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・水産業のことを地元の人が知らない ・市民が関心を持っていない ・小さな地元店舗は社会変化への対応が難しい
教育文化	
<p>《どんなまちになってほしいか》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・命の大切さ（学ぶことは生きること、遊び）生きる実感 UP で主体的な学びが生まれる、震災の教訓を生かす ・ふるさと教育・石巻の風土を生かした学び ・石巻の独自性がある教育システム ・自然の財産をいかした学園都市 	<p>《課題》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市民お互いの取組を伝え合う ・地域課題解決のためには、分野教育ではなく、総合的な教育が必要である。 ・学びは遊び、遊びは楽しい！ → まちが遊びの価値を大切にすること大事 ・守りたいものがある → 「市民憲章」の心意気や実践、過去の総合計画の振り返りが必要

第4～7回では、5つの分野に分かれ、これから必要な取組や市民の役割について話し合いました。

地域コミュニティ	
＜提案された取組＞ <ul style="list-style-type: none"> ・「行政が行う取組」「住民が行う取組」を整理し、周知・説明を徹底する ・町内会側も努力し、スマホ・ITの活用を積極的に進め、情報共有できるようにする ・移住者に、町内会への紹介や地域住民としての役割をしっかりと周知する ・震災伝承のため中間支援組織の仕組みづくり 	＜市民ができること＞ <ul style="list-style-type: none"> ・市民同士が地域の情報を発信できる勉強会をする ・子ども連れや若者でも対話しやすい環境をつくる ・高齢者に活躍してもらい、おせっかいを大切にする ・防災について、地域やNPOなどが話し合いで事例を紹介し、勉強をする ・子どもたちに対して、長い目線で震災伝承の意義や必要性を伝えていく
生活基盤整備	
＜提案された取組＞ <ul style="list-style-type: none"> ・ごみ捨ての適正化を図るために、ごみ対策に対する教育や、分別・リサイクルを積極的に行う ・使い捨てプラスチックの使用禁止 ・ごみ処理よりもごみ削減への重視・方向づけ 	＜市民ができること＞ <ul style="list-style-type: none"> ・ごみの減量・削減に向けて、ゴミ捨て場をきれいに使う、エコバックを使う、清掃活動に参加する ・復興住宅の公共スペースや公共施設など、多くの市民が利用できるイベントを開催する ・市民が主体となりイベントを企画して実践する
健康福祉医療	
＜提案された取組＞ <ul style="list-style-type: none"> ・子育ての孤立を防止するために、子どもを産む前後のサポートをする ・母子手帳を持った時に、その人にあった必要な情報や物を教えられるようにする ・行政と連携して、適切な予防接種など受けられるような情報を発信する 	＜市民ができること＞ <ul style="list-style-type: none"> ・産前・産後ママのピアサポートサークルをつくる ・子育て経験のある人が情報交換できる場をつくる ・高齢者のサロンの開催、地域に住む住民同士のあいさつ等、助け合える習慣をつくる ・行政と子育てコンシェルジュのような人材を育成する ・地域にあるフリースクールやプレーパーク、自治会や地域食堂などで子どもを受け入れる
産業振興	
＜提案された取組＞ <ul style="list-style-type: none"> ・市民の文化活動を育て、少しずつ観光とのつながりを持たせる ・水産物（食）のストーリーづくり ・市民や企業のノウハウの活用、異業種交流を進める 	＜市民ができること＞ <ul style="list-style-type: none"> ・オリジナルの観光ガイドブックをつくる ・北上川の魅力を活かして水との触れ合いの場をつくり、市民参加の機会を増やす ・ガイド育成プログラムをつくる ・観光に関する組織の情報交換の場づくりをする ・地元の様々な仕事のプロからノウハウを学び、自分の仕事に生かす ・学校教育で地元の仕事の出前授業を行う
教育文化	
＜提案された取組＞ <ul style="list-style-type: none"> ・不登校児童生徒を理解するためにも、その背景や原因の解明を行う ・困っている子どもの受け皿を、学校と協力して用意する ・子どもの権利条約を共通のテーマに！ ・オンラインで知識教育を、体験でリアルな教育を 	＜市民ができること＞ <ul style="list-style-type: none"> ・フリースクールを実施する ・多様な学びや不登校への理解を働きかける ・学校を中心に、親や子ども、地域の方が集まれるような環境づくりをする ・学校やPTA、民生委員、民間団体等のネットワークを構築し、児童を対象としたイベントを開催する ・地域の活動に参加し、人同士のつながりをつくり、自分が住んでいる地域を知る

■未来ワークショップ

対象	市内在住または市内の高校・大学に通学している高校生・大学生
参加者 (敬称略)	41名（※承諾のあった方の氏名のみ掲載しています。）（50音順） 渥美 瑞綺 / 阿部 まい / 阿部 麻琴 / 阿部 美咲 / 和泉 柊斗 / 遠藤 大空 / 及川 悠也 / 大和田亜美 / 勝又 純 / 加藤 瑠華 / 木村 海斗 / 木村 紅葉 / 木村みのり / 後藤 亜美 / 櫻田 瑞希 / 佐藤 碧 / 中野寧麻織 / 中野木綿織 / 配島 千尋 / 初貝 優花 / 柳田 義宗

第1～3回では、9つの分野に分かれ、分野ごとに将来の石巻について話し合いました。

観光・PR
石巻市の観光資源を活かして、たくさんの人に来てもらえる、たくさんの人が交流できるまちづくり
観光・イベント・カフェ
観光でまちにお金落ちるしくみをつくり、ほかの分野に役立てる
遊び・買い物
石巻市の観光資源を活かして、たくさんの人に来てもらえる、たくさんの人が交流できるまちづくり
遊び・観光・施設
観光資源、若者、駅近をキーワードに、人でにぎわう空間を創り出す
食（海産物、農産物等）、飲食
もっと石巻市民が、石巻市の海産物の魅力を知り、地元で消費し、広く発信していく
仕事（農業・水産業など）
石巻市の自然を生かした産業づくりが大切 これまでできたこと、市民が一丸となればおいしいものが作れる！
自然（海・山・川）
山から海、美しい自然の景観が一望できる素晴らしい環境がある きれいを発信し、市民が安らげる場所に
子育て
子育てのためには、身近な人とのつながり、新しい働き方などが大切 地域で連携し、安心や安全な子育てを！

第4～6回では、5つの分野に分かれ、これから必要な取組や、若者と大人の役割について話し合いました。

まちのにぎわい・地域の支え合い			
■世代間の交流 ・20代と60代がつながれる場所をつくる ・どんな世代でも集まれる場所を！		■まちのにぎわい ・駅の近くに若い人たちが交流できる場所（お店）をつくる ・高校生がまちのお店をSNSで紹介する	
自分たちにできること	大人に手伝ってもらいたいこと	自分たちにできること	大人に手伝ってもらいたいこと
・子どもと高齢者の つなぎ役になる！ ・地域のイベント等 に積極的に参加する	・イベントを多くの人 に知らせてもら いたい ・開催場所を提供し てもらいたい	・街のリサーチをす る ・店の人に話を聞く ・若い人向けマップ づくり	・中高年マップづく り ・マップの配布 ・活動を継続できる 仕組みづくり

遊び・暮らしやすさ

【提案された取組】

■地域でつくる交流と遊び場

- ・自己責任公園を整備する
- ・子どもには体験が大事！

自分たちにできること	大人に手伝ってもらいたいこと
<ul style="list-style-type: none"> ・子どもたちと一緒に遊ぶ ・遊具・遊ぶスペースの開発 	<ul style="list-style-type: none"> ・プレイヤーカーズみたいな遊びに詳しい大人を招いてイベントする

■得がある街

- ・集会所を整備する、既存施設の利用を考える
- ・お年寄りの経験や知識を活かした教室など

自分たちにできること	大人に手伝ってもらいたいこと
<ul style="list-style-type: none"> ・場所を維持するために掃除などの管理を行う ・ボランティアで運営を手伝う 	<ul style="list-style-type: none"> ・市民が自由に施設を利用できるようにする

自然を守る・活かす（農林水産業）

■自然を守る

- ・フォトジェニックなごみ箱でごみを捨てたくなる工夫をする
- ・市内のきれいな景色を回れるスタンプラリー

自分たちにできること	大人に手伝ってもらいたいこと
<ul style="list-style-type: none"> ・高校生がデザインする 	<ul style="list-style-type: none"> ・デザイン制作資金の調達 ・景観スポットへのアクセスを教えてほしい

■地元の若い世代への産業・商品のPR

- ・みなと祭、マルシェイベント等の開催
- ・農業体験「鉄腕だっちゃ」でリアルな農業体験
- ・市内高校の校外学習で相互の連携を図る

自分たちにできること	大人に手伝ってもらいたいこと
<ul style="list-style-type: none"> ・SNSで情報を発信していく ・高校生が講師になって魚のさばき方を教える 	<ul style="list-style-type: none"> ・フィールド（田んぼ）づくりのマンパワー ・農業の技術指導

観光・商工業・PR

■集客力のあるイベント

- ・市内をめぐる「ツールド石巻」の開催
- ・マンホールをデザインして、マンガでまちをPR
- ・市内の食材だけを使った高校生グルメイベント

自分たちにできること	大人に手伝ってもらいたいこと
<ul style="list-style-type: none"> ・イベントの企画、ボランティア、エイドステーションの運営など 	<ul style="list-style-type: none"> ・イベントの運営支援、資金提供 ・マスコミへの周知

■石巻の活性化

- ・各高校がテナントを持ってイベントを行い、PRできるような、高校生のための店を立ち上げる

自分たちにできること	大人に手伝ってもらいたいこと
<ul style="list-style-type: none"> ・自分たちで商品をつくる ・責任をもって運営する 	<ul style="list-style-type: none"> ・リピーターをつくる、設けるためのしくみづくり

子育て・教育

【提案された取組】

■子供の居場所・遊び場を！

- ・地域でスポーツ大会、eスポーツ大会など
- ・高齢者もゲーム（トランプや将棋等）ができる

自分たちにできること	大人に手伝ってもらいたいこと
<ul style="list-style-type: none"> ・幼稚園などにPRする ・大人と一緒に企画する 	<ul style="list-style-type: none"> ・場所の確保 ・イベントを実施するための資機材の確保

■親への支援

- ・高校生が地域の集会所で子どもと遊びながら見守る
- ・使っていない公民館や集会所を使う

自分たちにできること	大人に手伝ってもらいたいこと
<ul style="list-style-type: none"> ・職業体験のような形で、親や子供と交流する ・放課後空いているときに手伝う 	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもとの交流ができる場を設けてほしい ・管理・サポートを手伝ってほしい

■地区別ワークショップ

地域ごとの特色を踏まえた課題や必要な取組について話し合いました。

地区	参加者
河北地区	地域まちづくり委員会
雄勝地区	地域まちづくり委員会
河南地区	地域まちづくり委員会
桃生地区	地域まちづくり委員会
北上地区	6名（※承諾のあった方の氏名のみ掲載しています。）（50音順） 佐藤 梨恵 / 平井 和也
牡鹿地区	地域まちづくり委員会

河北地区	
<ul style="list-style-type: none"> ・公園等を活用したコミュニティ活動 ・大雨時の排水対策 ・山や海の美しい景観 ・環境に配慮した排水処理 	<ul style="list-style-type: none"> ・でこぼこな道路の整備 ・山林整備による土砂災害防止対策 ・有害鳥獣による被害対策
雄勝地区	
<ul style="list-style-type: none"> ・空き家の活用 ・子どもの医療体制 ・雄勝石産業の後継者不足 	<ul style="list-style-type: none"> ・移住希望者の受け入れ体制の整備 ・生活道路、観光道路の整備 ・伝統芸能の後継者不足、伝承活動の環境整備
河南地区	
<ul style="list-style-type: none"> ・公共施設の情報発信、ニーズに合わせた運営 ・健康づくりや介護予防の活動 ・人が集う場や遊び場の整備 ・施設や自然等の資源を活かした観光 	<ul style="list-style-type: none"> ・新たなコミュニティの形成 ・石巻河南道路の早期整備 ・浸水被害や土砂災害等の自然災害対策
桃生地区	
<ul style="list-style-type: none"> ・地域のつながりの希薄化 ・公共交通の利便性向上 ・大雨時の内水排除 ・桃生津山ICの活用 	<ul style="list-style-type: none"> ・移住希望者への各種支援策や空き家の活用 ・子どもの遊び場、子育て環境の向上 ・農業の担い手確保、販路拡大 ・伝統芸能の後継者不足
北上地区	
<ul style="list-style-type: none"> ・住民と移住希望者のつなぎ役 ・公共交通の利便性 向上 ・有害鳥獣による被害対策 	<ul style="list-style-type: none"> ・住民同士のビジョンの共有 ・健康づくりや介護予防の活動 ・自然環境の保全
牡鹿地区	
<ul style="list-style-type: none"> ・地域住民が関わる仕組みやイベントの開催 ・空き家の活用 ・単身高齢者への生活支援 ・捕鯨文化の振興 	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもが残りたいと思える地域づくり ・公共交通や離島航路の利便性向上 ・子どもの医療体制

3 庁内組織

(1) 庁内組織策定経過

令和元年		
7月17日	第1回 総合計画策定支援業務 プロポーザル選定委員会	<ul style="list-style-type: none"> ・委嘱状交付 ・策定支援業務プロポーザル選定委員会設置要綱について ・策定方針について ・策定支援業務仕様書について ・策定支援業務プロポーザル実施要領について ・策定支援業務プロポーザル評価基準について
8月30日	第2回 総合計画策定支援業務 プロポーザル選定委員会	<ul style="list-style-type: none"> ・スケジュール説明 ・参加資格審査結果報告 ・プレゼンテーション ・質疑、審査 ・採点 ・受託事業者の候補者選定結果報告
11月7日	第1回 策定本部幹事会	<ul style="list-style-type: none"> ・第2次石巻市総合計画の策定方針について ・第2次石巻市総合計画の策定スケジュールについて ・石巻市総合計画策定本部専門部会について ・計画策定に係る市民意識調査について
11月13日	第1回 策定本部	
12月3日 12月5日 12月6日	第1回 専門部会	<ul style="list-style-type: none"> ・第2次石巻市総合計画の策定方針について ・第2次石巻市総合計画の策定スケジュールについて ・石巻市総合計画策定本部専門部会について ・現計画の評価検証に係る作業について
令和2年		
1月30日 1月31日 2月3日 2月4日	第2回 専門部会	<ul style="list-style-type: none"> ・アンケート結果と基礎調査について ・施策評価結果について ・施策評価結果をふまえた課題について
4月22日 4月23日	第3回 専門部会	<ul style="list-style-type: none"> ・総合計画策定経過について ・今後のスケジュールについて
4月23日	第2回 策定本部幹事会	<ul style="list-style-type: none"> ・基本構想骨子案について
4月28日	第2回 策定本部	
5月20日 5月21日	第4回 専門部会	<ul style="list-style-type: none"> ・施策体系について
6月23日 6月24日	第5回 専門部会	<ul style="list-style-type: none"> ・基本計画施策体系について ・基本構想素案について
7月13日 7月15日	第6回 専門部会	<ul style="list-style-type: none"> ・基本計画施策体系について ・基本構想素案について ・基本計画素案について
7月16日	第3回 策定本部幹事会	<ul style="list-style-type: none"> ・基本構想素案について
7月20日	第3回 策定本部	
8月20日	第4回 策定本部幹事会	<ul style="list-style-type: none"> ・基本構想原案について
8月25日	第4回 策定本部	
9月25日 9月28日 9月30日	第7回 専門部会	<ul style="list-style-type: none"> ・基本計画素案について
11月19日	第5回 策定本部幹事会	<ul style="list-style-type: none"> ・基本計画中間案について
11月25日	第5回 策定本部	
12月24日 12月25日	第8回 専門部会	<ul style="list-style-type: none"> ・計画策定の進捗について ・各個別計画との調整について

令和3年		
1月21日	第6回 策定本部幹事会	・第2次石巻市総合計画策定スケジュールについて ・第2次石巻市総合計画中間案（概要）の全戸配布について
1月27日	第6回 策定本部	
7月1日	第7回 策定本部幹事会	・第2次石巻市総合計画基本構想・基本計画について ・策定スケジュールについて
7月7日	第7回 策定本部	
8月19日	第8回 策定本部幹事会	・パブリックコメントの実施結果について ・総合計画基本構想・基本計画上程案について
8月24日	第8回 策定本部	

(2) 石巻市総合計画策定本部（令和2年4月1日時点）

策定本部		策定本部幹事会	
本部長	市長	幹事長	復興政策部長
副本部長	副市長	副幹事長	復興政策部理事（ICT推進担当）兼次長
本部員	教育委員会教育長	幹事	復興政策部次長
本部員	復興政策部長	幹事	総務部次長
本部員	総務部長	幹事	財務部次長
本部員	財務部長	幹事	復興事業部次長
本部員	復興事業部長	幹事	半島復興事業部次長
本部員	半島復興事業部長	幹事	河北総合支所次長
本部員	河北総合支所長	幹事	雄勝総合支所次長
本部員	雄勝総合支所長	幹事	河南総合支所次長
本部員	河南総合支所長	幹事	桃生総合支所次長
本部員	桃生総合支所長	幹事	北上総合支所次長
本部員	北上総合支所長	幹事	牡鹿総合支所次長
本部員	牡鹿総合支所長	幹事	生活環境部次長
本部員	生活環境部長	幹事	健康部次長
本部員	健康部長	幹事	福祉部次長
本部員	福祉部長	幹事	産業部理事（農政担当）兼次長
本部員	産業部長	幹事	産業部次長
本部員	産業部産業政策審議監	幹事	建設部理事（下水道事業担当）兼次長
本部員	建設部長	幹事	建設部次長
本部員	病院局事務部長	幹事	病院局事務部次長
本部員	会計管理者	幹事	教育委員会事務局次長
本部員	教育委員会事務局長	幹事	復興政策部復興政策課長
本部員	危機管理監	幹事	総務部総務課長
		幹事	財務部財政課長

(3) 専門部会 (令和2年4月1日時点)

部会名・部会長	部会員所属
行財政推進 行政経営課長	秘書広報課、総務課、人事課、管財課、情報システム課、財政課、行政経営課、市民税課、資産税課、納税課、市民課、河北総合支所地域振興課・市民生活課、雄勝総合支所地域振興課・市民生活課、河南総合支所地域振興課・市民生活課、桃生総合支所地域振興課・市民生活課、北上総合支所地域振興課・市民生活課、牡鹿総合支所地域振興課・市民生活課、会計課
地域コミュニティ 地域協働課長	復興政策課、SDGs地域戦略推進室、震災伝承推進室、ICT総合推進室、地域協働課、地域振興課、東京オリンピック・パラリンピック推進室、危機対策課、防災推進課、渡波支所、稲井支所、荻浜支所、蛇田支所、河北総合支所地域振興課、雄勝総合支所地域振興課、河南総合支所地域振興課、桃生総合支所地域振興課、北上総合支所地域振興課、牡鹿総合支所地域振興課
生活基盤整備 都市計画課長	基盤整備課、市街地整備課、区画整理課、集団移転推進課、半島拠点整備推進課、漁業集落整備課、環境課、廃棄物対策課、最終処分場整備推進室、都市計画課、高規格道路整備推進室、石巻駅周辺整備プロジェクト推進室、道路第1課、道路第2課、建築課、住宅課、建築指導課、下水道管理課、下水道建設課、河川港湾課、河北総合支所地域振興課・市民生活課、雄勝総合支所地域振興課・市民生活課、河南総合支所地域振興課・市民生活課、桃生総合支所地域振興課・市民生活課、北上総合支所地域振興課・市民生活課、牡鹿総合支所地域振興課・市民生活課
健康福祉医療 福祉総務課長	健康推進課、夜間急患センター、保険年金課、介護保険課、包括ケア推進室・包括ケアセンター、福祉総務課、生活再建支援課、障害福祉課、保護課、子育て支援課、子ども保育課、市民相談センター、虐待防止センター、河北総合支所保健福祉課、雄勝総合支所保健福祉課、河南総合支所保健福祉課、桃生総合支所保健福祉課、北上総合支所保健福祉課、牡鹿総合支所保健福祉課、病院局事務部病院管理課
産業振興 産業推進課長	産業推進課、商工課、観光課、水産課、水産基盤整備推進室、農林課、ニホンジカ対策室、農業復興推進室、河北総合支所地域振興課、雄勝総合支所地域振興課、河南総合支所地域振興課、桃生総合支所地域振興課、北上総合支所地域振興課、牡鹿総合支所地域振興課、農業委員会事務局
教育文化 教育総務課長	教育総務課、学校教育課、学校安全推進課、学校管理課、生涯学習課、複合文化施設開設準備室、体育振興課、中央公民館、渡波公民館、蛇田公民館、稲井公民館、荻浜公民館、河北公民館、雄勝公民館、河南公民館、桃生公民館、北上公民館、牡鹿公民館、図書館

4 市民意見

■調査概要

内容	市民アンケート	転入者アンケート
目的	石巻市での暮らしやニーズの傾向を把握し、まちづくりに対する課題を抽出・分析することを目的としました。	石巻市への転入のきっかけや石巻の魅力などを把握し、移住定住の促進や関係人口拡大に向けた課題を抽出・分析することを目的としました。
対象者	石巻市に居住する18歳以上の市民	過去3年間で石巻市に転入した市民
配布数	3,000人	500人
回収数（回収率）	1,137人（37.9%）	150人（30.0%）
抽出方法	無作為抽出	
調査期間	令和元年11月18日（月）～12月6日（金）	
調査方法	郵送による配布・回収	

(1) 市民アンケート調査結果

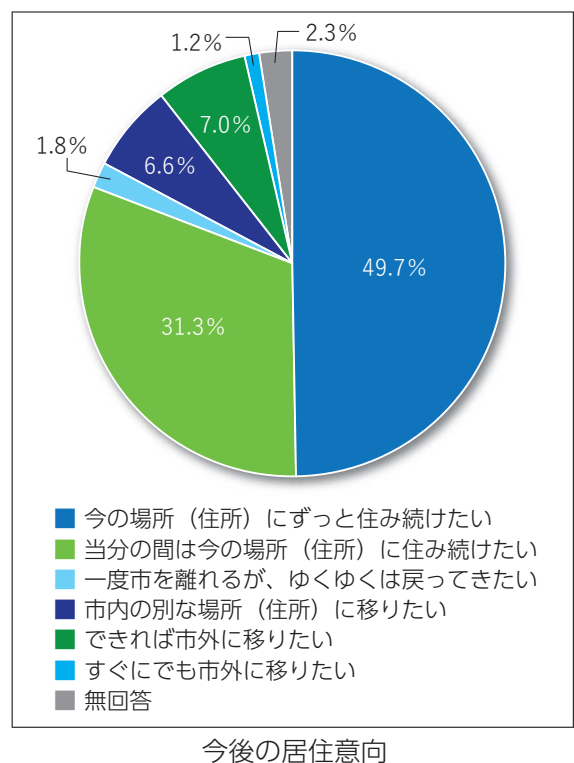
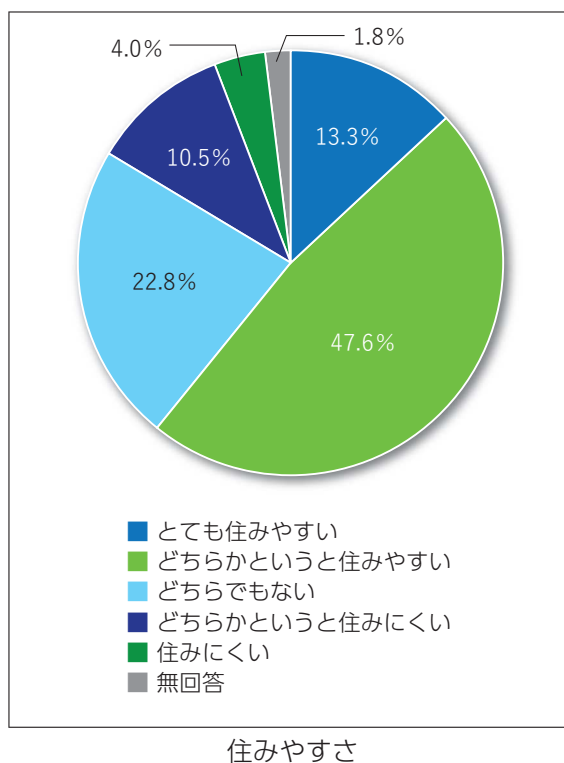
より「住みやすい」と感じられる、また「住み続けたい」、「ゆくゆくは戻ってきたい」と感じられるまちづくりを推進していく必要があります。

■住みやすさ

石巻市の住みやすさについて、「どちらかという住みやすい」が47.6%と最も多く、「住みにくい」と回答した人が4.0%と最も低くなりました。

■今後の居留意向

居住継続意向について、49.7%が「今の場所（住所）にずっと住み続けたい」との意向を示す結果となり、「すぐにでも市外に移りたい」と回答した人が最も低く、1.2%となりました。



住みやすさ

今後の居留意向

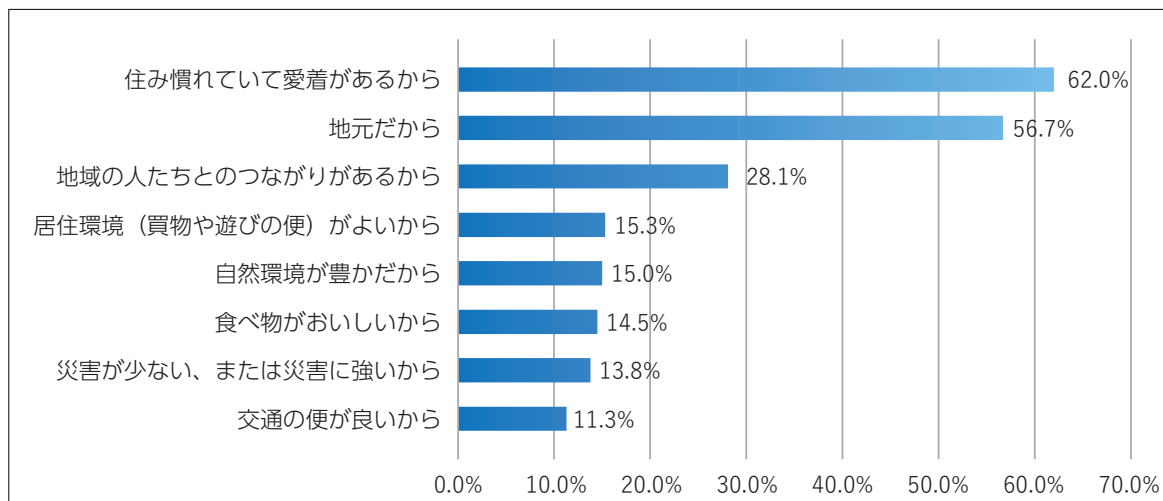
また、住みたい理由については、地元への愛着が最も多く、居住・生活環境に対する評価はやや傾向がみられます。

将来に向けて、進行する高齢化社会への対応や、広域である石巻市内での快適な生活環境を形成するための交通や買い物の利便性を向上することが求められています。

つまり、市民のニーズに対応したまちづくりを目指すことで、住みたい市民も増えることが期待されます。

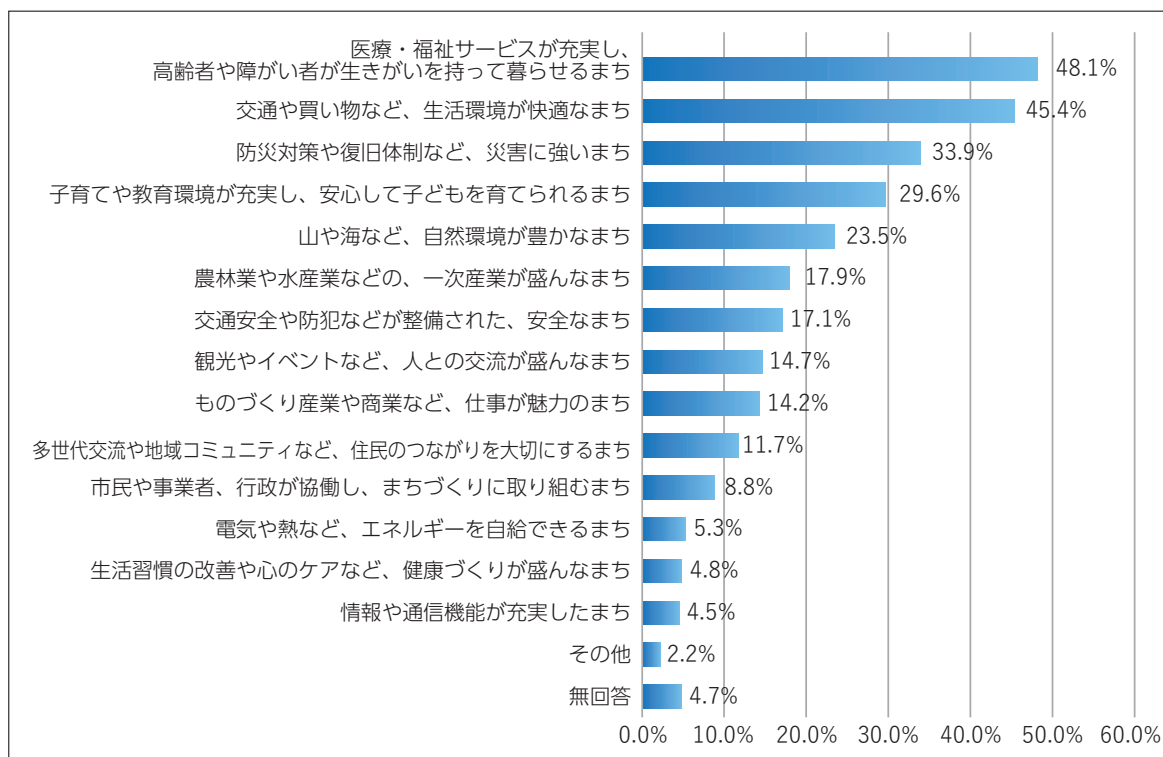
■住みたい理由

住みたい理由としては、「住み慣れていて愛着があるから」が最も多く 62.0%、次いで「地元だから」が 56.7% と高くなっています。



■今後のまちづくり（10年後どんなまちになってほしいか）

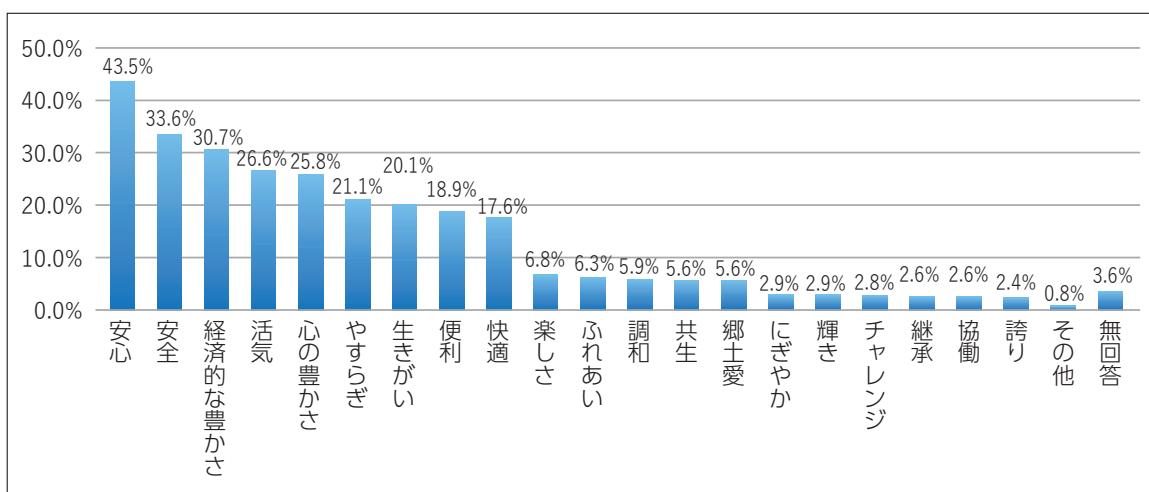
石巻市の将来像への期待について、「医療・福祉サービスが充実し、高齢者や障がい者が生きがいを持って暮らせるまち」が 48.1% と最も高くなり、次いで「交通や買い物など、生活環境が快適なまち」が 45.4% となりました。



将来大切にしたいキーワードは、「安全」や「安心」など、高齢化社会への対応や交通や生活環境への対応を求める考えが現れていると考えられます。そのほか、生活の維持や地域の活性化のような「経済的な豊かさ」が求められています。

■将来へのキーワード

石巻市の将来像への重要なキーワードについて、「安心」が43.5%と最も高くなり、次いで「安全」が33.6%となりました。そのほかには、「活気」や「心の豊かさ」、「生きがい」というキーワードが2割を超えています。



※各グラフについて、端数処理の関係及び複数回答により合計が100%にならない場合があります。

(2) 転入者アンケート調査結果

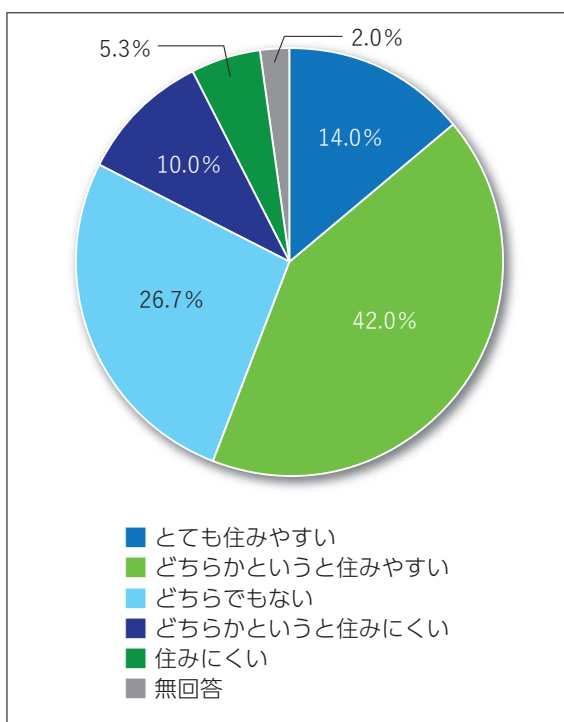
市民アンケートと比較すると、「住みやすい」と感じる市民の割合がやや低い状況となっています。また、「今の場所（住所）にずっと住み続けたい」市民の割合は、かなり低い状況となっています。転入してきた方々にとっても住みやすい環境を整備し、住み続けたい市民の割合を高めていくことが求められます。

■住みやすさ

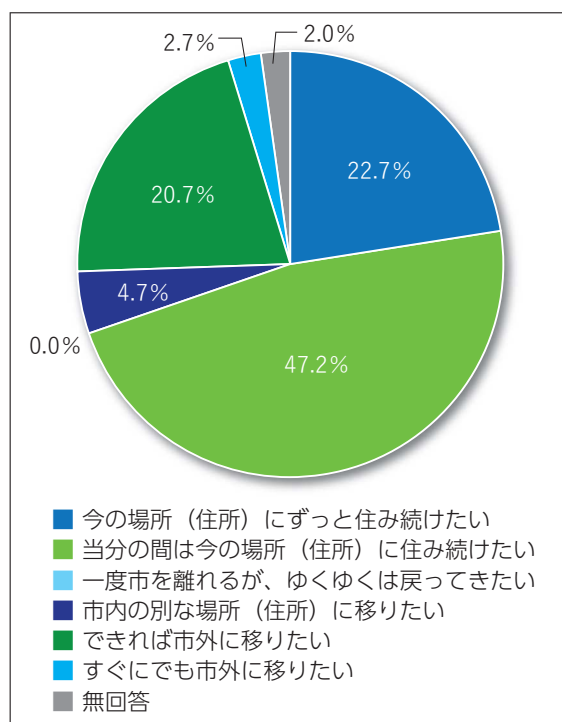
石巻市の住みやすさについて、「どちらかという住みやすい」が42.0%と最も多く、「住みにくい」と回答した人が5.3%と最も低くなりました。

■今後の居住意向

居住継続意向について、47.3%が「当分の間は今の場所（住所）に住み続けたいとの意向を示す結果となった。」「すぐにでも市外に移りたい」と回答した人が最も低く、2.7%となりました。



住みやすさ



今後の居住意向

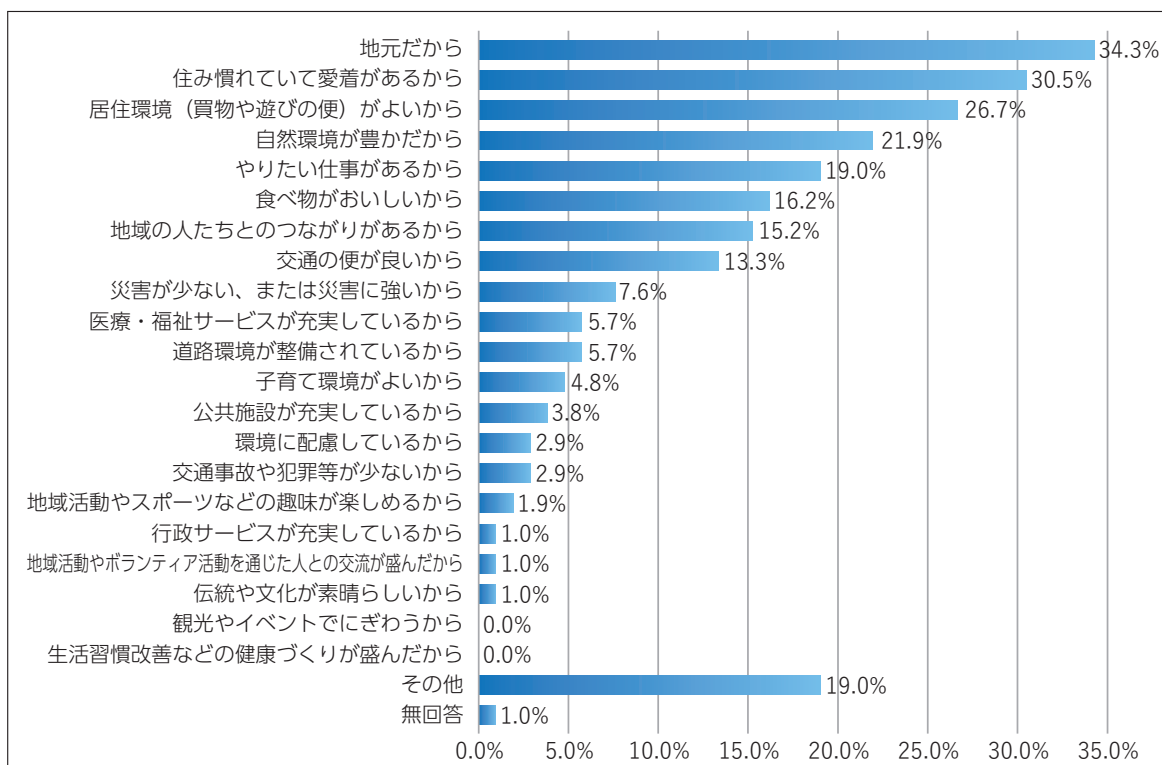
住み続けたい理由としては、石巻市が地元であることへの居心地や愛着が大きな理由であるとともに、居住環境の良さも理由として挙げられています。居住環境の良さについては、市民アンケートと比べると割合が高く、ほかの都市と比べたときの石巻市の居住環境に対する評価の現れであると考えられます。

また、市民アンケート同様更なる居住環境の改善や、子育てへのニーズが高い傾向となっています。

■住み続けたい理由

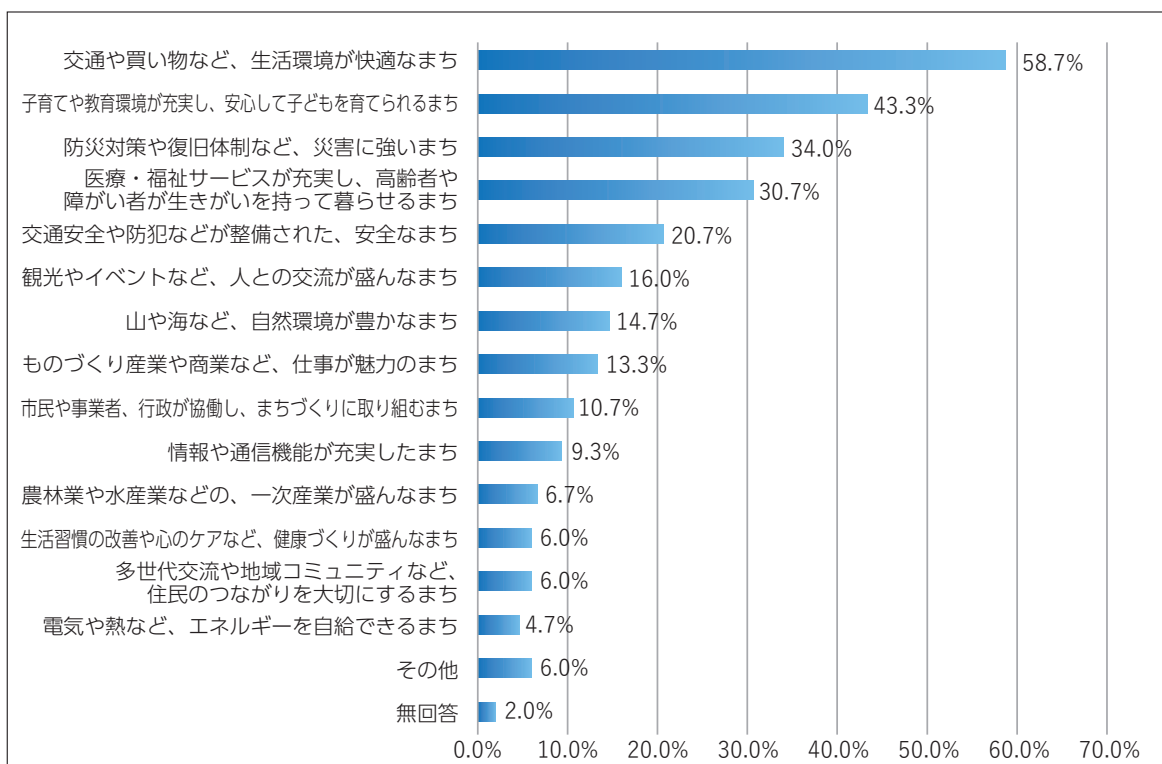
石巻市に住み続けたい理由としては、「地元だから」が34.3%と最も高くなり、次いで「住み慣れていて愛着があるから」が30.5%となりました。

低かった項目は、「行政サービスが充実しているから」「地域活動やボランティア活動を通じた人との交流が盛んだから」「伝統や文化が素晴らしいから」が同率で1.0%となっています。



■今後のまちづくり（10年後どんなまちになってほしいか）

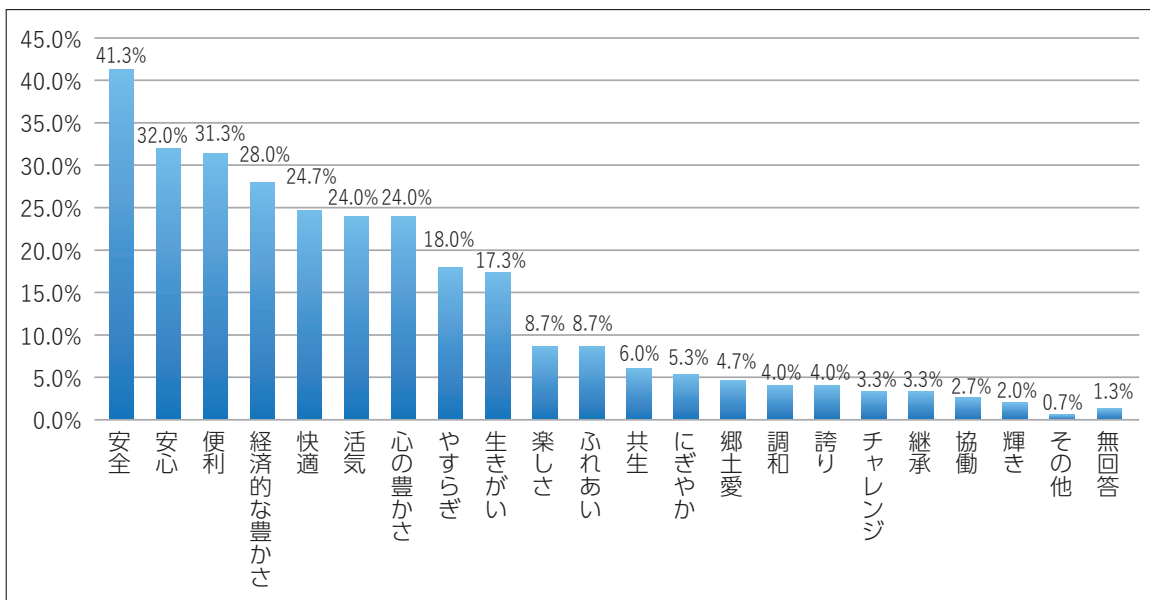
石巻市の将来像への期待について、「交通や買い物など、生活環境が快適なまち」が58.7%と最も高くなり、次いで「子育てや教育環境が充実し、安心して子どもを育てられるまち」が43.3%となりました。「電気や熱など、エネルギーを自給できるまち」が4.7%と最も低くなっています。



市民アンケート同様、転入者アンケートでも「安全」と「安心」は共通して意識されているキーワードです。そのほか、市民アンケートと比較すると「便利」や「快適」というキーワードの回答割合が高くなっており、居住環境の向上を求めるニーズが高くなっています。

■将来へのキーワード

石巻市の将来像への重要なキーワードについて、「安全」が41.3%と最も高くなり、次いで「安心」が32.0%となりました。



※各グラフについて、端数処理の関係及び複数回答により合計が100%にならない場合があります。

(3) 第2次石巻市総合計画中間案（概要版）全戸配布

目的	策定状況と内容について市民に示し、市民の意見や提言を把握して計画案の参考とするため実施しました。
実施期間	令和3年1月28日（木曜日）～令和3年2月12日（金曜日）
公表資料	第2次石巻市総合計画中間案（概要）
周知方法	行政委員による全戸配布（60,467世帯）、市ホームページ
意見の提出方法	Eメール、ファクシミリ、郵送
意見募集対象者	・市内に住所を有する方　・市内に事務所又は事業所を有する方 ・市内の事務所又は事業所に勤務する方　・市内の学校に在学する方 ・本市に対して納税義務を有する方　・本件に関して利害関係を有する方
意見募集結果	136件（67の個人及び団体）

(4) パブリックコメント

目的	第2次石巻市総合計画策定に対する皆様からの意見をいただくため実施しました。
実施期間	令和3年7月15日（木曜日）～令和3年7月28日（水曜日）まで
公表資料	第2次石巻市総合計画基本構想（案） 第2次石巻市総合計画基本計画（案）
周知方法	復興政策課・情報公開コーナー・各総合支所・各支所での閲覧、市ホームページ
意見の提出方法	Eメール、ファクシミリ、郵送、持参
意見募集対象者	・市内に住所を有する方　・市内に事務所又は事業所を有する方 ・市内の事務所又は事業所に勤務する方　・市内の学校に在学する方 ・本市に対して納税義務を有する方　・本件に関して利害関係を有する方
意見募集結果	35件（7の個人及び団体）

5 用語解説

用語（50 音順）	意味
あ行	
新しい生活様式	感染拡大を防ぐために、飛沫感染や接触感染、近距離での会話などへの対策を日常生活に取り入れた生活様式のこと。
石巻市まち・ひと・しごと創生総合戦略	人口減少などへの対応を目的とし、まち・ひと・しごと創生法（平成 26 年法律第 136 号）に基づき平成 27 年 12 月に策定した計画のこと。
インセンティブ	意思決定や行動を変化させるような要因のこと。
インフラ	交通、通信、電力、水道、公共施設など、社会や産業の基盤として整備される施設のこと。インフラストラクチャーの略語。
か行	
貝毒	主に二枚貝が毒素を持った植物プランクトンを餌として食べることによって、体内に毒を蓄積させる現象のこと。
可処分所得	個人所得から税金、社会保険料などを控除したもの。
合併算定替	普通交付税の算定において、合併後一定期間は合併前の旧市町村が別々に存在するものとみなし、それぞれの交付税を合算した額を交付する制度のこと。
かんがい用水	農地に外部から人工的に水を供給するために引く水のこと。
関係人口	移住した定住人口でもなく、観光にきた交流人口でもない、地域や地域の人々と多様に関わる人々のこと。
狹隘	面積などが狭くゆとりがないこと。
緊急事態宣言	新型インフルエンザ等対策特別措置法で、新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の蔓延を抑止するため、内閣総理大臣が期間を設け、都道府県ごとに発する宣言のこと。
金融資産残高	現金・預金・有価証券・貸出金などの形で保有する資産残高のこと。
金融資本市場	資金の貸借取引が行われる場、あるいは資金需給が調整される場、過程のこと。
グリーンスローモビリティ	時速 20km 未満で公道を走ることができる電動車を活用した移動サービスのこと。
慶長使節船	サン・ファン・パウティスタ号。今から約 400 年前、仙台藩主伊達政宗がノビスパニア（現メキシコ）との直接貿易を求めて、イスパニア（現スペイン）国王及びローマ教皇のもとに派遣した外交使節団が使用した船のこと。
経常収支比率	地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標のこと。比率が高いほど財政構造の硬直化が進んでいることを示す。経常収支比率＝経常経費充当一般財源の額÷経常一般財源総額×100
下水道処理人口普及率	下水道を利用できる地域の人口を、行政人口で除した値のこと。
公益的機能	社会一般の利益を有した機能のこと。
高度衛生管理型施設	取り扱われる水産物について、陸揚げから荷さばき、出荷に至る各工程において、（生物的、化学的あるいは物理的）危害を分析・特定の上、危害要因を取り除くためのハード及びソフト対策を講じるとともに、取り組みの持続性を確保するための定期的な調査・点検の実施ならびに記録の維持管理と要請に応じた情報提供を可能とする体制を構築することで、総合的な衛生管理体制を確立した施設のこと。
高齢化率	人口に占める 65 歳以上の高齢者人口が占める割合のこと。
合計特殊出生率	15～49 歳までの女性の年齢別出生率を合計した数値のこと。

用語（50 音順）	意味
か行	
国連気候変動枠組条約 締約国会議（COP）	気候変動枠組条約の締約国が温室効果ガス削減対策等を協議するための会議のこと。
コミュニティ・スクール	保護者や地域のニーズを反映させるために、地域住民が学校運営に参画できるようにする仕組や考え方を有する形態の学校のこと。
コンパクトな都市構造	一定の地域に居住地や都市機能を集積し、住民の利便性を向上させようとする都市構造のこと。
さ行	
再生可能エネルギー	自然の環境や資源を利用し、エネルギー資源が枯渇せず、温室効果ガスを排出しないエネルギーのこと。
在宅当番医制	病院・診療所が日曜・祝日に当番制で診療を行うこと。
財政力指数	基準財政収入額を基準財政需要額で除した数値のこと。 地方公共団体の財政力を示す指標として用いられる指数。
サロン活動	地域の拠点等に住民等が集い、交流等を深める自主活動のこと。
産学官	産業（民間企業）、学校（教育・研究機関）、官公庁（政府・地方公共団体）の三者のこと。
市街化区域	既に市街地を形成している区域及びおおむね十年以内に優先的かつ計画的に市街化を図るべき区域のこと。
自治体 SDGs モデル事業	SDGs 未来都市の中で実施予定の先導的な取組として選定される事業のこと。地方公共団体による SDGs の取組の中でも特に注力的に実施する事業であり、経済・社会・環境の三側面における新しい価値創出を通して持続可能な開発を実現するポテンシャルが高い先導的な取組であり、ステークホルダーとの連携を通し、地域における自律的好循環が見込める事業を指す。
自然動態	出生・死亡に伴う人口の動きのこと。
実質 GDP	一定期間に国内で生産された商品・サービスの合計額である国内総生産（GDP）を、基準年の価格で評価した値のこと。 名目国内総生産（名目 GDP）から物価の上昇・下落による影響を取り除いたもので、実質的な経済活動の規模を把握するために利用される。 GDP：Gross Domestic Product（国内総生産）の略。一定期間に国内で生産された財貨・サービスの価値額の合計。国民総生産から海外での純所得を差し引いたもの。国内の経済活動の指標として用いる。
社会動態	転入・転出に伴う人口の動きのこと。
社会保障経費	医療や年金、介護、生活保護などの社会保障の経費のこと。
住民バス	住民の移動手段を確保するために地方自治体等が運行するバスのこと。
循環型社会	有限である資源を効率的に利用するとともに、リサイクルなどを行って、持続可能な形で循環する社会のこと。
新型コロナウイルス感染症	2019 年に発生した、SARS コロナウイルス 2（SARS-CoV-2）が人に感染することによって発症する気道感染症のこと。 国際正式名称：COVID-19
新産業都市	新産業都市建設促進法（昭和 37 年法律第 117 号）において、産業の立地条件及び都市施設を整備することにより、その地方の開発発展の中核となるべき（第 1 条）として指定された地域のこと。 2001 年 3 月 30 日廃止。
森林環境譲与税	森林環境税及び森林環境譲与税に関する法律（平成 31 年法律第 3 号）に基づき、市町村においては、間伐等や人材育成・担い手の確保、木材利用の推進、普及啓発等に充てることとされている税のこと。

用語（50音順）	意味
さ行	
森林経営管理制度	民有林のうち、経営管理が行われていない森林について、市町村が森林所有者の委託を受け経営管理することや、林業経営者に再委託することにより、林業経営の効率化と森林の管理の適正化を促進する制度のこと。
水源かん養機能	森林の土壌による機能のこと。 洪水の緩和、川の流量の安定、水質の浄化など。
スケールメリット	規模を大きくすることによって得られる効果などのこと。
ステークホルダー	組織が活動を行うことで影響を受ける利害関係者のこと。
スマートコミュニティ	エネルギー管理システムや蓄電池等の IT 技術を活用した効率的なエネルギーシステムのこと。
製造品出荷額等	1 年間ににおける製造品出荷額、加工賃収入額、くず廃物の出荷額及びその他収入額の合計のこと。
た行	
第 4 次産業革命	IoT、ビックデータ、AI、ロボットなどの技術革新による産業上の大きな変化のこと。
多様性・包摂性	多様性：幅広く性質の異なる群が存在すること。 包摂性：社会的に弱い立場にある人々をも含め市民ひとりひとり、社会の一員として、排除・孤立しない状態のこと。
地域共生社会	子どもや高齢者、障がい者などすべての人々が地域、暮らし、生きがいを共に創り、高め合うことができる社会のこと。
地域包括ケアシステム	誰もが住み慣れた地域で、医療・介護・予防・生活支援・住まいなどのサービスを、一体的に受けられる社会を構築する仕組みのこと。
地域防災力	住民一人一人が自ら行う防災活動、自主防災組織、消防団、水防団その他の地域における多様な主体が行う防災活動並びに地方公共団体、国及びその他の公共機関が行う防災活動の適切な役割分担及び相互の連携協力によって確保される地域における総合的な防災の体制及びその能力をいう。
超スマート社会	IOT、IT などを活用した社会の様々なニーズにきめ細かくに対応でき、あらゆる人が質の高いサービスを受けられ、誰もが生き活きと快適に暮らすことのできる社会のこと。
超高齢社会	65 歳以上の人口の割合が全人口の 21%を超える社会のこと。
津波避難タワー・津波避難ビル	沿岸部において、浸水域外への避難が困難な市民の安全を確保するため、津波からの一時避難場所として整備した施設のこと。
定住自立圏構想	地方圏において、安心して暮らせる地域を各地域に形成し、地方圏から三大都市圏への人口流出を食い止めるとともに、三大都市圏の住民にもそれぞれのライフステージやライフスタイルに応じた居住の選択肢を提供し、地方圏への人の流れを創出するため、全国的な見地から推進していく施策のこと。
テレワーク	勤労形態の一種で、情報通信技術を活用し時間や場所の制約を受けずに、柔軟に働く形態のこと。
特定健康診査	生活習慣病の予防のために、40 歳から 74 歳までを対象としたメタボリックシンドロームに着目した健診のこと。
特定第三種漁港	利用範囲が全国的な漁港のうち、水産業の振興のために特に重要であるとして漁港漁場整備法の政令で定められた漁港のこと。
都市計画区域	健康で文化的な都市生活と機能的な都市活動の確保を達成するため、都市計画法その他の法令の規制を受けるべき土地の範囲のこと。
都市公園	都市計画施設もしくは都市計画区域内に設置される公園又は緑地のこと。

用語（50 音順）	意味
た行	
土地区画整理事業	道路、公園、河川等の公共施設を整備・改善し、土地の区画を整え宅地の利用の増進を図る事業のこと。
トレーサビリティシステム	生産履歴、流通・加工履歴などを必要なときに溯って確認できるシステムのこと。
な行	
残したい日本の音風景 100 選	全国各地で人々が地域のシンボルとして大切にし、将来に残していきたいと願っている音の聞こえる環境（音風景）を公募し、音環境を保全する上で特に意義があると認められる 100 件を選定したもの。
乗合タクシー	同一方向に向かう乗客が相乗りで利用し、乗車定員 11 人未満の車両で運行されているタクシーのこと。
は行	
ハザードマップ	自然災害による被害予測範囲を地図化したもの。
働き方改革	個々の事情に応じた多様で柔軟な働き方を自分で選択できるようにするための改革のこと。
病院群輪番制	地域内の病院等が輪番制方式により休日・夜間等における救急患者等の診療を実施する体制のこと。
扶助費	社会保障制度の一環として、児童・高齢者・障害者・生活困窮者などに対して国や地方公共団体が行う支援に要する経費のこと。
プログラミング教育	ICT 社会に対応した知識の習得及びプログラミング的思考を習得するための情報教育のこと。
へい死	突然死すること。動物等の突然死を指す場合が多い。
防災集団移転促進事業	災害が発生した地域や災害危険区域のうち住民の居住に適当でないと認められる区域から集団移転を行う事業のこと。
ま行	
まちづくり懇談会	町内会や各種団体等を対象に市民の意見や要望を市政に反映させ、市の課題や施策等を説明し、市政への理解をいただくための懇談会のこと。
みちのく潮風トレイルコース	青森県八戸市から福島県相馬市までの 4 県 28 市町村をつなぐ、全長 1,000 キロを超えるロングトレイルのこと。東日本大震災からの復興を契機に設定された。
民有林	国有林以外の森林のこと。地方自治体の所有林と私有林。
メタボ	メタボリックシンドロームの略称。内臓肥満に高血糖、高血圧、脂質代謝異常のうち 2 つ以上の症状が出ている状態のこと。
や行	
有効求人倍率	公共職業安定所で取り扱う求職者数に対する求人数の割合のこと。1 人の求職者に対してどれだけの求人があるかを示す指標。
ら行	
林産物	森林から産出される生産物のこと。
臨時財政対策債	国からの地方交付税が不足した際に、代わりとして、地方公共団体自らが発行する地方債のこと。
ローリング方式	複数の年度の計画などについて、毎年度、検証・改訂などを行なうこと。

用語（50音順）	意味
英数字	
3R	循環型社会形成のためのキーワードである、リデュース（Reduce：減らす）、リユース（Reuse：繰り返し使う）、リサイクル（Recycle：再資源化する）の頭文字のRをとった言葉のこと。
AI	人工知能のこと。Artificial Intelligence の略。知的行動などを人間に代わってコンピューターが行う技術のこと。
BMI	ボディマス指数のこと。Body Mass Index の略。体重と身長から算出される肥満度を表す体格指数。BMI = 体重 ÷ 身長 ÷ 身長
GIGA スクール構想	義務教育課程の子どもたち一人ひとりに対して個別最適化された創造性を育む教育、情報通信や技術面を含めた ICT 環境の実現を目的とした構想のこと。 1人1台の端末と、高速大容量の通信ネットワークを一体的に整備する。
IoT	モノのインターネットのこと。Internet of Things の略。様々なモノ（物）がインターネットに接続されることにより、データの共有、制御、操作等ができるようになること。
K6	6つの項目により、うつ病や不安障害などの可能性を確認する調査手法のこと。
NPO	Non-Profit Organization 又は Not-for-Profit Organization の略称で、様々な社会貢献活動を行い、団体の構成員に対し、収益を分配することを目的としない団体の総称のこと。
SDGs	持続可能な開発目標。Sustainable Development Goals の略。2015年9月の国連サミットで、加盟国の全会一致で採択された持続可能でよりよい世界を目指す国際目標のこと。17のゴール、169のターゲットから構成される。
SDGs 未来都市	内閣府が平成30年度より SDGs の達成に向けた取組を積極的に進める自治体を公募し、経済・社会・環境の三側面の統合的取組により、新たな価値を創造する提案を行った自治体を認定する制度のこと。

第2次 石巻市総合計画

令和4年（2022）1月発行

発行者 宮城県石巻市

企画・編集 復興政策部復興政策課

〒986-8501 石巻市穀町14番1号

TEL 0225-95-1111

FAX 0225-90-8043

E-Mail reconst@city.ishinomaki.lg.jp

ホームページ <https://www.city.ishinomaki.lg.jp/>
